

表紙の人

村内俊雄(むらうちとしお)氏



【プロフィール】

- 1952年 奈良市で生まれる
- 2006年 企業から民間人教頭へ
- 2011年 大阪市立大学大学院創造都市研究科修士課程を修了
- 2015年 奈良地域デザイン研究所を設立
- 2020年 奈良県第11回あしたのなら表彰

現在

大阪経済法科大学客員教授
 (社)奈良地域デザイン研究所 理事長
 (社)地域デザイン学会 参与
 登美ヶ丘北中学校区地域教育協議会 会長
 奈良市観光大使

「表紙の人」は、奈良で地域の活性化に取り組んでいる研究者の村内俊雄さんです。村内さんは、大手企業から全国で初めて民間人教頭として奈良市の中学校へ転職され、現在大学の教授という素晴らしい経歴の持ち主です。そんな村内さんに現在の活動についてお聞きしました。

■現在どのような活動をされていますか。

大学で「地域デザイン」の研究に取り組みながら、「一般社団法人奈良地域デザイン研究所」を設立。社会にある様々な課題を解決する為に、住んでいる人たち自らが現状を把握し、その解決方法を考え実行する「持続可能な社会の仕組み作り」を目指しています。

■奈良地域デザイン研究所のこれまでの活動を教えてください。

人材育成の観点から、「地域デザイナー養成講座」「市民フォーラム」や「デザインカフェ」を行ってきました。毎回さまざまなジャンルで活躍されている方をゲストに招き、街をデザインする人たちが集い交流しています。地域デザイナー養成講座では受講生を募り、より専門性の高い地域のリーダーの育成支援に取り組んでいます。

■地域活動された動機を教えてください。

学生時代は日本経済の高度成長期にあり「より強く、早く」の時代でした。しかしふと考えると、置き去りにされている人たちがいる事に気がつきました。そこで車椅子の人と一緒に歩くというのを発案し、一人で活動し始めると多くの人々や新聞社などの協力を得ることができ、助けられる結果となりました。この経験が私の原点となって現在につながっています。

■今後の抱負をお聞かせください

社会の問題(教育・環境・医療・福祉・観光等)を解決する為に必要なのは物や金ではなく「人」です。奈良地域デザイン研究所では、地域活動をしている人たちを、より専門性の高い知識を持ったリーダーとして育て、社会貢献をして行きたいと考えております。

■ありがとうございました。

【記：情報・広報委員会 福田成生】



法人設立祝賀会での法人職員



デザインカフェ
「若者が語る日本の未来」



市民フォーラム「お水取りからみた奈良の歴史」東大寺本坊



アドバイザーからの研究の指導を受ける

1. はじめに

「なら・まちづくりコンシェルジュ」に関する「士会奈良」へのリレー寄稿は、2012年から2013年にかけて7回にわたり投稿させていただいて以来、今回で2度目となります。前回寄稿から8年、発足からは13年経ちました。

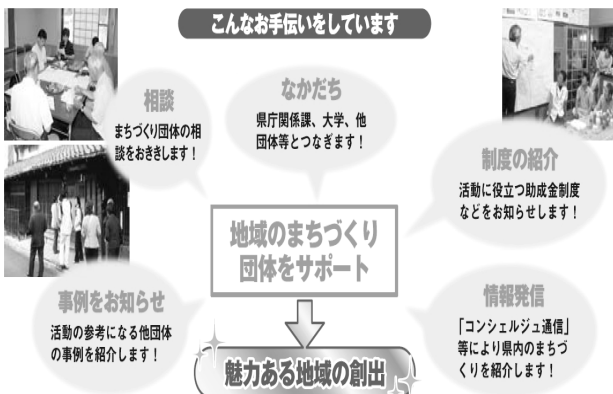
この度、再び機会をいただきましたので、地域で活動されている方々とともに取り組んだこれまでの活動、最近の活動やまちづくりの考え、今後の展望などについて、何回かにわたり寄稿させていただきます。

2. 「なら・まちづくりコンシェルジュ」とは

改めて「なら・まちづくりコンシェルジュ」とはどういったものなのかをご紹介します。平成19年に遡りますが、「まちづくりの発掘のために現場をウロウロする職員をつくれなにか」という荒井知事の発案がきっかけとなり、地域のまちづくり活動をサポートすることによって魅力ある地域を創出することを目的として、平成19年7月に発足した制度です。

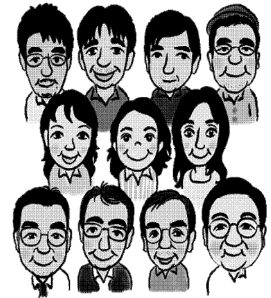
特徴は、課や係ではなく職員が知事から任命を受けることになっているため、人事異動があった場合も継続的に関わった地域をサポートできますことです。現在(令和3年1月)では8名が活動中で、事務局は地域デザイン推進局まちづくり連携推進課にあります。

活動の概要ですが、大きく分けて下図の5つになります。「相談」では、地域の方々が活動されていること、やりたいこと、悩みなどをお聞きして一緒に考えます。「事例をお知らせ」と「助成制度の紹介」は、先進地の活動事例や地域あった支援制度などを紹介します。「なかだち」は、庁内関係課、大学、専門家などをつなぎます。「情報発信」では、メルマガなどでイベントや支援制度の発信を行っています。



3. これまでに取り組んだ活動の紹介

発足から13年間で、県内に多くある歴史的な町並みが残る地区を中心に10市5町1村の計35地区にお伺いさせていただきました。そこで活動されている地域の方々とともに取り組んできたことを、2回にわたってご紹介します。



■まちづくりマップ

発足当初から取り組んでいるのが「まちづくりマップ」です。地域団体の方々とコンシェルジュが協働して、地域資源を記載したマップを作成しています。一緒に歩いて地域資源を収集し地図に掲載する資源を絞り込み、その解説や地区のコンセプトなどを考えます。

このマップ作りをきっかけにして、地域の資源を再認識し、また地域団体の方々とコンシェルジュとの信頼関係を築くことによって、その後のまちづくりの展開へと発展していった地区もあります。

これまでに直近の三郷町龍田古道地区まで18地区で作成しました。全てまちづくり連携推進課のホームページからダウンロードできますので、ご興味がありましたらご覧ください。



(<http://www.pref.nara.jp/9878.htm>)



<吉野町上市地区 (H28年度作成)>

次回、これまでの活動(その2)をご紹介します。

【記：なら・まちづくりコンシェルジュ 高田大輔 (奈良県郡山土木事務所建築課課長)】

1. はじめに

平成22年10月1日に施行された「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」第8条に基づき、奈良県では「公共建築物における“奈良の木”利用推進方針」が平成24年3月29日に策定され、平成30年に改定されました。

以降、公共建築物の木質化が様々に検討されましたが、代表的な中大規模の木造建築物としては「明日香庭球場」（奈良県高市郡明日香村）があるものの、そこまで普及していません。その要因のひとつには、公共建築物で木材を利用した設計のノウハウを持つ会社が少なく、また発注側も実績が多くないことが挙げられます。

そこで、木造公共建築物を設計するためにどういった知識が必要になるか、また木造建築物を設計する上で検討すべき問題点や他構造とのコスト比較など、今後木材の利用をより推進していくための課題について検討しました。

2. 木造公共建築物等推進タスクフォース会議について

奈良県 水循環・森林・景観環境部 奈良の木ブランド課 より、木造建築物の試設計の業務委託を受け、奈良県建築士会では「木造公共建築物等推進タスクフォース会議（以下、タスクフォース）」を組織しました。奈良県内の建築事務所や建設会社、製材会社より木造建築物に関する経験や知識のある人物として、米村建築士会会長以下13名の建築士会会員で構成されています。

【意匠設計】 稲原（奈良支部）、阪口（橿原支部）、巽（奈良支部）、西峯（宇陀支部）

【構造設計】 伊藤（奈良支部）、中西（橿原支部）、中本（高田支部）

【施工・積算】 木根（宇陀支部）、伏見（生駒支部）、中尾（桜井支部）、舞（高田支部）

【木材関係】 甲村（高田支部）、吉田（桜井支部）



公営住宅パース

3. 今回の業務

奈良の木ブランド課からの「奈良県産材を使用した中低層の木造建築物」という業務内容に基づき、タスクフォースでは「木造の公営住宅」をテーマとして試設計しました。

■木造の公営住宅 テーマ詳細

- ・1室40㎡の1DK 1階4住戸 木造3階建
- ・上部構造：在来木造を中心とする（出来る限り奈良県産材を利用できる構造）
- ・基礎構造：当該地の地盤構成に合致した構造を計画
- ・仕上材：奈良県の公営住宅としてふさわしい材料を選択、1住戸当たりの木材使用量・材料コストを把握

4. 木造公営住宅 試設計の流れ

テーマに基づき、意匠担当者がプランに沿った意匠図を作成、構造担当者は意匠図を基に構造検討。その後、設備や積算の検討を進めていく上で、遮音性能や外部の雨掛かりなど木材を利用した建物ゆえの問題点や、様々な人が住む公営住宅というプランから来る問題点。そして、木材の流通状況やそれによる発注方法（調達期間）の確立など、奈良県産材を利用するための、多様な疑問や問題が浮かび上がってきました。

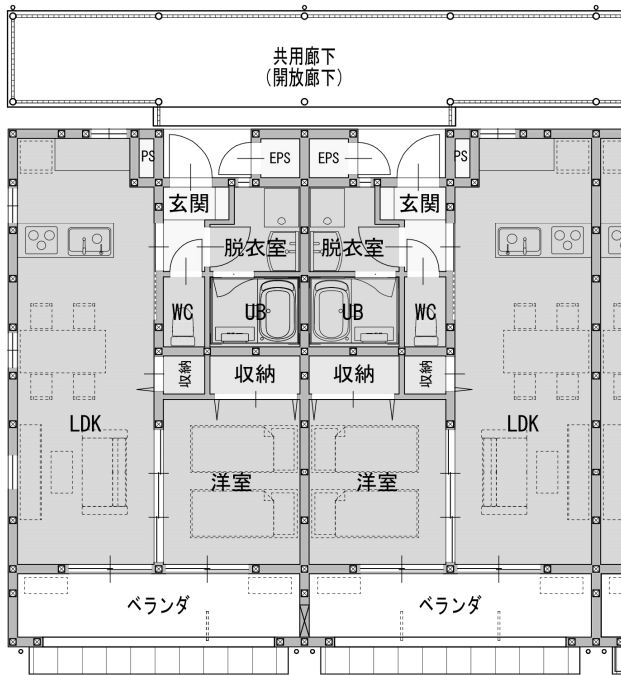
そこで私たちは、宇陀市にある木造の市営住宅の現地見学会を行ったり、奈良の木ブランド課のワークショップでは計画したプランへの意見を参加者と交わしたり他府県の事例を聞くなど、新たな視点での情報から検討を重ねました。

数回の会議と担当者同士のやり取りを繰り返し、最終的な図面や構造計算書を作成。また、比較対象としてRC造で設計した場合の図面と構造計算書を作成し、どちらも積算数量を出してコストの比較検討をしました。

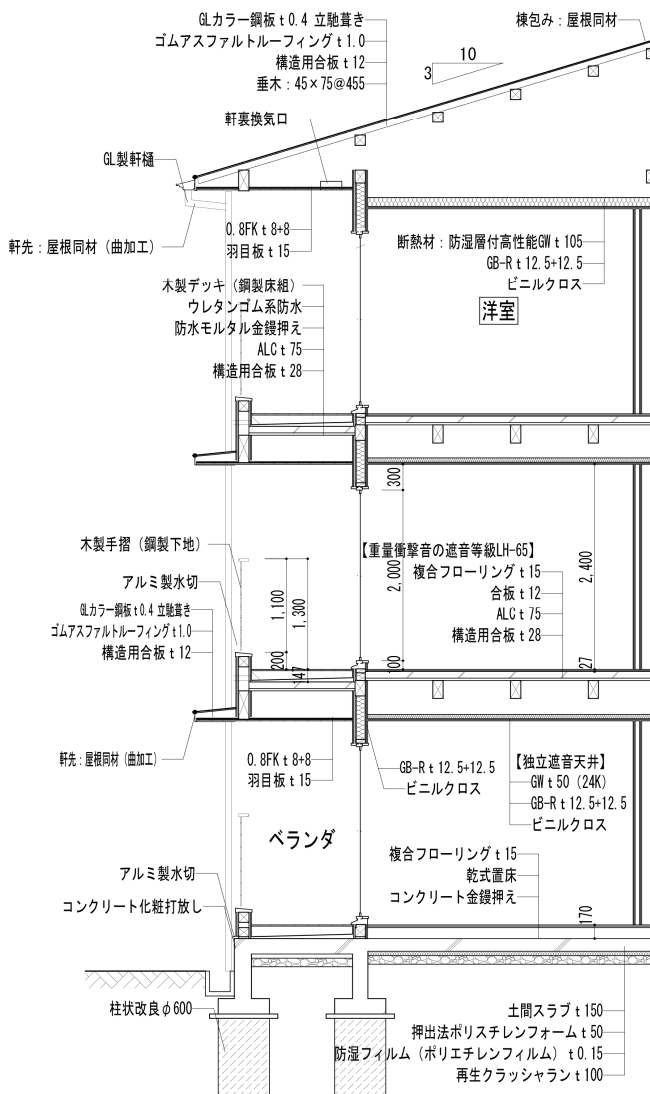
5. ワークショップに参加して

タスクフォースのメンバーは、奈良の木利用推進協議会主催のワークショップに、計3回参加させて頂き、木材利用の利点や欠点などについて学びました。

- 1回目：公営住宅を木造にする際の注意点
- 2回目：JAS材とは何か・奈良県地域認証材との違い
- 3回目：タスクフォースでの試設計を発表、意見交換



平面図 (一部)



矩計図 (一部) 階高 1・2階3,000mm、3階2,850mm)

6. 積算コストを算出して

公営住宅の主体構造を木造とした場合とRC造とした場合について、コスト面でも比較をしました。結果として、両方の工事金額に大きな差はありませんでした。(界壁部は天井ふところまで配置し、「片面：PB2重+合板」としています)

木造では、建物重量が軽くなるため基礎構造が簡素化出来ます。また工事着工後の施工日数が少ないため、共通仮設費や現場経費なども削減可能です。

しかし、各階開口部上部に小庇を設け、雨掛かりを防ぐなどの対応をすることで多少のコストUPとなります。

7. おわりに

約1年弱、タスクフォースの一員として試設計に取り組み、ワークショップなどにも参加して感じたことは、奈良県の公共建築物を木造にするには、難しい部分がたくさんあるということでした。

特に、奈良県地域認証材とJAS材の流通量の違いは大きいと考えます。県が推奨するJAS材は流通量が少なく、また経費がかかるため普及していません。材料提供側も、JAS認証工場となるには維持管理費等がかかり、また注文がないため積極的に準備できていません。安心して確かな性能のJAS材をもっと多く知ってもらうことで奈良県内での製造・消費が拡大すれば、地域材で中規模木造建築物を作ることが出来ます。そうすれば、奈良県全体の活性化にも繋がっていくでしょう。

また、行政(発注者)側からは、自分たちの木造に関する知識や業務(施工管理等)経験の少なさから、木造公共建築物の発注は慎重にならざるを得ない部分があるとも聞きました。これは、我々建築士たちも同様です。公共建築物に限らず、中大規模の木造建築物の設計・施工の経験がある人は奈良県でも少数です。

私たちタスクフォースは、そういった行政側と民間側の橋渡しが出来よう、これからも木造建築物や木材について学びの機会を設け、情報発信していきたいと考えております。そして、奈良県内の木造に関する中心的な存在となり、そのノウハウを地域づくりに役立てていきたい所存です。私たちがコーディネーターの役割を担い、皆様のお力になっていきたいと思っております。何かお困りごとや気になること、知りたいことがございましたらぜひご相談ください。

【記：木造公共建築物等推進タスクフォース会議
座長 中本 明】

■地域資源としての歴史的建物の現状と取り組み

大和郡山には、かつての城下町の風情や趣を残しつつ、現代も使われている建物が多数存在します。建築的観点では、存在価値を感じる建物が実は多い。このような建物に対し、郡山支部では、平成22年から建物調査や活用に向けた取り組みを実施しています。



(歴史的建造物調査報告書 平成22年～27年度)

■“CODE FOR YAMATOKORIYAMA”とコラボ

今年度は、地域内外の人に対して、城下町に存在する歴史的な建物や建築士会の取り組みを、知ってもらえる仕掛けをつくることを試みました。

建物掲示プレートのQRコードから上記調査資料をダイレクトに確認できる、“まち歩きアプリ”を地元IT系の団体“CODE FOR YAMATOKORIYAMA”とコラボし技術的サポートを得て、また、大和郡山市まちづくりアイデアサポート事業の支援金を活用して作成しました。



現地掲示プレート

QRコードからアプリへ

■まち歩きイベント開催(2月23日)

晴天に恵まれた2月の天皇誕生日、新しいアプリを体験してもらい、フィードバックを得るための“まち歩きイベント”を開催しました。同時開催の大和郡山まちづくり株式会社が改修中の「町家未来基地」での見学会やスパイスカレーのイベントも盛況で、これからの大和郡山のまちづくり活動の胎動を感じることができました。



■今後の展開

アプリを使ってのまち歩きに関するアンケート結果は、まだ整理できておりませんが、下記のような貴重な意見を踏まえて、機能改善や拡張を行っていきたいと考えています。

- ・トイレスポット等の情報が欲しい
- ・また開催してほしい、定期開催してほしい
- ・話を聞きながら回るの楽しかった

今後の展開は、関係団体とともに検討し、来年度の活動につなげていきます。支部の活動の一つとして、まち歩きイベントも開催しつつ、建築物の利活用を図っていきたいと考えます。

興味を持った方は、是非右のQRコードからアプリにアクセスしてみてください(紺屋のページ)。



【記：郡山支部長 折目 貴司】

広 告



上野公園防災力強化棟建設工事 / (株) たかの建築事務所

令和3年2月1日より組織変更致しました
これからも構造技術者集団を目指して精進致します

のび
株式会社 伸構造事務所

一般構造 / 耐震診断・耐震補強設計
PC設計・PCa設計

代表取締役会長 中本 明
取締役社長 中本 篤

奈良県香芝市瓦口2166番地
TEL:0745-71-2200 / FAX:0745-71-2311
https://www.nobiso.jp

お知らせ

●おめでとうございます。

令和2年一級建築士試験 (敬称省略)
 白井 真彦 橋村 怜樹 松尾 健吾 酒井 秀彰
 内田 美紀 池田 彩花 五月女義人 寺田 慎
 大橋 良馬 塚本 将貴 佐々木和樹 吉川 直樹
 米杉 英哲 菊池 玲子 宮下 夏緑 多田 光汰
 山本 英貴 中垣 康平 小林亜悠実 森村 佳浩
 後藤 純平 藤山 大輔 上田 卓也 楠見 成立
 河合 智樹 因田 美帆 合格者数 26名 (奈良県)

令和2年二級建築士試験 合格者数 63名 (奈良県)

●令和3年度通常総会の日程 (予定)

日時: 令和3年5月18日(火) 15:00~ (予定)

場所: 奈良県文化会館

議事: 令和2年度事業報告及び決算承認

令和3年度事業計画及び予算承認

※正会員の皆様は、後日送付いたします通常総会の案内について出欠票を提出頂きますようお願いいたします。尚、残念ながら欠席される場合には、必ず委任状も記載したうえでご返送頂きますようお願いいたします。

●訃報

新谷 継一 様 (奈良支部)

ご冥福をお祈りいたします。



編集後記

今年度より新しく広報委員になりました中元です。よろしくお祈りいたします。今回は私の子供から聞いた出来事を書きたいと思います。

小学6年生の長男は、放送部の編集責任者をしています。昨年、鬼滅の刃「紅蓮華」のリクエストが男子児童から殺到、連日最多リクエストのため、3日連続で昼休みに放送しました。すると、抗議の手紙が女子児童から殺到、鬼滅の刃の「切り刻まれたポストカード」が机の中に投函され始めました。仕方なく女子児童からのリクエストが多い「カンザキオリの命に嫌われている」に切り替えました。しかし、今度は男子児童から「女子児童の圧力に屈するのか」と抗議が殺到しました。長男は、このままでは事件に発展すると思ったそうです。仕方なく、同級上役の

放送部長に相談したところ、「リクエストが多い曲をかけるのが放送部の規定」という指示でした。しかし、長男は事件が起こっては大変だと思い、3日間かけて放送部長を説得し、「編集責任者の判断に任せる」という許可をもらいました。長男は思案し、男子・女子児童双方に受け入れられる曲「ベートーヴェン交響曲第9番」を流すと騒ぎは治まったということでした。

この話を聞いて感じたことは、「広報」という「公衆と良好な関係を構築してゆく活動」の難しさと、昔は無かった「アクティブラーニング」が小学校から行われていることへの驚きでした。私は「保守とは永遠の調整者」という言葉が好きで、日ごろから実践していますが、長男にこれを学ばせてくれる小学校に感謝しています。

【記: 情報・広報委員 中元綱一】

3月

10日(水) 既存住宅状況調査技術者講習会(更新)
 20日(土) ● 春分の日
 24日(金) 監理技術者講習

4月

21日(水) 監理技術者講習
 29日(木) ● 昭和の日

士會奈良 通巻636号

令和3年3月1日(発行隔月1回1日発行)

発行所 一般社団法人 奈良県建築士会
 〒630-8115 奈良市大宮町2丁目5-7 奈良県建築士会館
 電話: 0742-30-3111 FAX: 0742-33-4333
<https://nara-kenchikushikai.or.jp/>
info@nara-kenchikushikai.or.jp

発行責任者 米村博昭

編集 (一社) 奈良県建築士会 情報・広報委員会



情報・広報委員会

委員長 福田 成生
 副委員長 松田 七彦 宮浦 重彦
 委員 中元 綱一 伊藤 吉郎
 門脇 直也 折目 貴司
 松尾 憲治 大倉 克之
 小西 直樹 山崎 修裕
 小松原寛俊 洞 尚樹
 押部 誠

奈良県のストレート合格者のおよそ9割は総合資格学院の当年度受講生!

奈良県
合格者占有率

NO.1
建築士試験

令和元年度 1級建築士 学科・設計製図試験

奈良県 ストレート合格者占有率

88.9%

奈良県ストレート合格者9名中、当学院当年度受講生8名

令和元年度 1級建築士 設計製図試験

奈良県 合格者占有率

85.7%

奈良県合格者28名中、当学院当年度受講生24名

※当学院のNo.1に於ける表示は、公正取引委員会「No.1表示に関する実態調査報告書」に基づき掲載しております。 ※都道府県合格者数・ストレート合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。 ※学科・製図ストレート合格者とは、令和元年度1級建築士学科試験に合格し、令和元年度1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。 ※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。(令和2年2月12日現在)

開講
迫る!!

令和3年度 1級・2級建築士
学科対策講座

受講生
募集中!!

お申込みは
お早めに!

1級・2級 建築士 構造/設備設計 1級建築士 建築設備士 宅地建物取引士 インテリアコーディネーター
 1級・2級 建築施工管理技士 土木施工管理技士 1級・2級 管工事施工管理技士 1級 造園施工管理技士 賃貸不動産経営管理士

総合資格学院
全国約100拠点 学院長 岸 隆司



www.shikaku.co.jp 総合資格 検索
 Twitter ⇒ @shikaku_sogo
 Facebook ⇒ [総合資格 fb] で検索!

奈良校 TEL.0742-30-1511
 奈良県奈良市西大寺栄町3-27 泉谷ビル 4F
 近鉄大和西大寺駅北口から徒歩5分